

仙台塩釜港（仙台港区）の概要

仙台港区のあらまし

仙台港（仙台塩釜港・仙台港区）は、昭和 39 年 3 月に新産業都市「仙台湾地区」の指定を受けて臨海型工業の発展拠点として同年 8 月に計画決定された掘込み港湾です。

その後、流通港湾としての必要性が高まったため、商港機能を加え東北地方における流通拠点港湾として建設が進められ、昭和 46 年 7 月に開港しました。

平成 13 年 4 月には、東北の港では初めて「特定重要港湾」の指定を受け、東北地方の広域物流拠点として重要な役割を果たしてきています。

近年では、東北地方の成長に伴う物流需要の増大、船舶の大型化や外貿易物のコンテナ化に代表される輸送革命などに対応するため、外貿コンテナ機能の導入を中心とした「仙台国際貿易港整備計画」が策定され、流通機能の充実強化を進めているところです。

平成 7 年 4 月からは、本格的な外貿コンテナふ頭である水深 12m の高砂 1 号岸壁をガントリークレーンとともに供用開始し、翌年 4 月には岸壁背後にコンテナターミナル 6.6ha が完成し、機能の充実が図られました。

平成 13 年 6 月には、高砂 1 号岸壁に隣接して水深 14m の高砂 2 号耐震岸壁と、その背後のコンテナターミナルを供用開始しました。

2 つの岸壁と約 20ha のコンテナターミナル及び 3 基のガントリークレーンができたことにより、東北地方における国際海上コンテナターミナルの拠点として一層の機能が強化されたこととなります。

直近では、高砂コンテナターミナルの拡張とガントリークレーン 4 号機の設置事業に着手するとともに、ポートセールスの強化、コンテナターミナルの管理運営の改善等ハード・ソフト両面に亘って施策を展開し、本県のみならず東北地方を世界に導くゲートウェイ港湾となるよう推進していくことにしています。

仙台塩釜港（仙台港区）のあゆみ

昭和 42(1967)年 12 月 工事着工（航路、防波堤、土地造成）



昭和 46(1971)年 6 月 東北石油(株)棧橋に第一船入港

昭和 46(1971)年 8 月 新仙台火力発電所第一号機の運転開始

昭和 46(1971)年 10 月 臨海鉄道が東北石油(株)構内に開通



昭和 48(1973)年 3月 高松ふ頭岸壁 6 バース、中野ふ頭 1、2 号岸壁完成

昭和 48(1973)年 4月 太平洋フェリーが名古屋～仙台～苫小牧に就航

昭和 48(1973)年 12月 東日本フェリーが名古屋～苫小牧に就航



昭和 49(1974)年 3月 高松ふ頭岸壁 2 バース、中野ふ頭 3 号岸壁完成



昭和 51(1976)年 3月 中野ふ頭4号岸壁、2号フェリー岸壁(-8.5m)完成



昭和 52(1977)年 3月 雷神ふ頭、1号フェリー岸壁(-7.5m)完成



昭和 53(1978)年 3月 中野ふ頭5、6号岸壁完成

昭和 54(1979)年 3月 雷神ふ頭2、3号岸壁完成

昭和 54(1979)年 4月 みなと公園開園

昭和 54(1979)年 4月 保税上屋指定 (中野岸壁背後)

昭和 56(1981)年 7月 開港10周年

昭和 57(1982)年 4月 高松木材ふ頭岸壁完成



昭和 58(1983)年 4月 臨海鉄道が仙台港駅から仙台西港駅まで開通



昭和 61(1986)年 3月 中央港湾審議会第 113 回 港湾計画改訂(国際貿易港計画策定)

昭和 62(1987)年 3月 北防波堤(延長部 L= 75m、全長 L=325m)完成

” 7月 仙台港を会場に「未来の東北博覧会」開催

” 8月 沖防波堤 着工

昭和 63(1988)年 5月 ジブクレーン設置
〃 8月 中央公園が暫定開園



平成 2(1990)年 2月 向洋岸壁(I・II)着工
〃 3月 国際貿易港建設着工
〃 6月 内航フィーダーコンテナ航路開設 (仙台港から東京港)



平成 3(1991)年 7月 県営中野 1 号上屋完成
〃 7月 開港 20 周年
〃 10月 仙台港湾事務所庁舎落成



平成 4(1992)年 4月 中央公園全面供用
〃 7月 第 7 回「海の祭典」開催



令和 5 (1993)年 2月 内航フィーダーコンテナ航路開設「清浦丸」就航
平成 6(1994)年 3月 高砂ふ頭 1 号岸壁(水深 12m) 1 バス 完成

平成 7 (1995)年 4月 ガントリークレーン 1号機供用開始
〃 7月 東南アジアコンテナ定期航路開設



〃 2月 北米／日本・アジア／地中海コンテナ定期航路開設
平成 8(1996)年 4月 高砂コンテナターミナル本格供用開始(6.6ha)
〃 5月 向洋ふ頭岸壁(水深 12m)1バース 完成
〃 5月 中央港湾審議会第 158 回港計画改訂
平成 9 (1997)年 2月 ガントリークレーン 2号機 供用開始
〃 4月 日本／北米西岸コンテナ定期航路開設



平成 10(1998)年 6月 内航フィーダーコンテナ航路開設 (仙台港～横浜港)

- 平成 11(1999)年 6月 日本／アジアコンテナ定期航路開設
- 平成 11(1999)年 11月 内航フィーダーコンテナ航路2 航路開設 (仙台港～東京港)
- 平成 12(2000)年 5月 日本／韓国コンテナ定期航路開設



- 平成 13 (2001)年 3月 高砂ふ頭2号岸壁(水深 14m)1 バ-ス 完成
- 〃 3月 高砂コンテナターミナル拡張・供用開始(20.2ha)
- 〃 4月 塩釜港が特定重要港湾へ昇格、仙台塩釜港へ港名改訂
- 平成 14 (2002)年 2月 ガントリークレーン 3号機 供用開始



- 平成 16 (2004)年 6月 仙台国際貿易物流ターミナル 供用開始
- 〃 10月 沖防波堤(L= 1, 300m) 完成
- 平成 18 (2006)年 8月 高砂コンテナターミナル拡張(20.2h→21.6ha)
- 平成 19 (2007)年 12月 高松ふ岸壁(水深 12m)1 バ-ス耐震化

平成 20(2008)年 11月	交通政策審議会第 33 回 港計画改訂
平成 21(2009)年 10月	ガントリークレーン 4 号機供用開始
平成 22 (2010)年 11月	雷神ふ頭 2 号岸壁(水深 9 m) 1 バース完成(水深 7.5 から増深改良)
平成 23 (2011)年 3月	東日本大震災 港湾機能停止
平成 25 (2013)年 2月	神ふ頭 1 号岸壁(水深 9 m) 1 バース完成(水深 7.5 から増深改良)
〃 6月	交通政策審議会第 52 回港計画改訂(仙台塩釜港、石巻港、松島港の一体化)
平成 29 (2017)年 3月	高松 2 号ふ頭岸壁(水深 14m)、栄船溜り完成
令和 2 (2020)年 2月	高砂コンテナターミナル新管理棟、新実入りゲート完成



令和 2 (2020)年 12 月 高砂コンテナターミナル新多目的置場完成



令和 5 (2023)年 3 月 高砂コンテナターミナル新空コンテナゲート完成

